

第四十三回国会 衆議院 通信委員會議 録 第二十八号

昭和三十三年六月十三日(木曜日)

午前十時五十分開議

出席委員

委員長 本名 武君

理事大高 康君 理事岡田 修一君

理事佐藤洋之助君 理事中村 貞太君

理事栗原 俊夫君 理事森本 靖君

小泉 純也君 鈴木 善幸君

中山 榮一君 橋本登美三郎君

森山 欽司君 安宅 常彦君

畑 和君 安平 鹿一君

受田 新吉君

出席國務大臣

郵政大臣 小沢久太郎君

出席政府委員

郵政事務次官 保岡 武久君

郵政事務官 武田 功君

(大臣官房長)

郵政事務官 金澤 平蔵君

(貯金局長)

委員外の出席者

郵政事務次官 西村 尚治君

日本電信電話公 大橋 八郎君

社總裁

日本電信電話公 米沢 滋君

社副總裁

専門員 水田 誠君

本日の會議に付した案件

郵便貯金法の一部を改正する法律案

(内閣提出第一七二号)

○本名委員長 (これより會議を開きます)

郵便貯金法の一部を改正する法律案

を議題とし、審査を進めます。

質疑の通告がありますので、これを許します。岡田修一君。

○岡田(修)委員 郵便貯金法の一部改正案に對しまして、若干の質問をいたしたいと思つてあります。この法律は、形から言いますと、單に法律事項を政令にゆだねるだけのものではありますけれども、これが零細な郵便貯金大衆の非常に大事なものに關するものでありますだけに、非常な関心の的になっておるわけでありまして、したがひまして、私どもとしては、十分その背景なり、あるいは政府の考へておられるところを明らかにいたしまして、これが郵便貯金大衆に何ら不安を与えるものでないということをこの際明らかにいたしたいと思つてあります。しかし、その核心に入りまする前に、一応郵便貯金の現状につきまして、私は二、三伺ひたいと思つて、私のであります。

最近の郵便貯金の増勢、どういふふうな増加の傾向をたどつておるか、それが市中銀行あるいは市中金融機関の預金の増勢に對して、どのような状況にあるか、これをまず伺ひたいと思つてあります。これは事務當局で持つてあります。

○委員長退席、佐藤(洋)委員長代行着席

○金澤政府委員 昨年度は千五百五十億といふものが貯蓄目標でございまして、二、三千二百六十億といふ非帯に大きな伸びを示しております。今年度に入りまして、その伸びはずつと續いておりまして、六月十二日現在で百六十億に達しております。これは昨年度の伸びが百四十億でございまして、昨年よりも好調に進んでおる格好になっております。

○岡田(修)委員 郵便貯金の増勢が予期以上に伸びているということにございしますが、市中金融機関の預金の伸びに對しまして、はたして市中金融機関よりもはるかに伸びているのか、あるいは伸び率が非常に低いのか……

○金澤政府委員 どちらも同じ程度ではないかと思つております。

○岡田(修)委員 そすると、郵便貯金の増勢は、市中金融機関の預金の増勢に對して、ほとんど同じだといふことですが、これは私は経済の高度成長、それから、それは伴つて所得の向上、こういう面から見ておると思うのであります。同時に、私は郵政當局が貯金増強についていろいろの手を打つておられる結果だと思つております。その郵政當局がどういふふうな貯蓄増強について手を打つていらつしやるか、まずそれを伺ひたい。

○金澤政府委員 貯蓄増強の手はいろいろございまして、ことにいま申し上げるのは、いままでやつておつたのと多少違つた意味で、本年度にいたしましては、貯蓄奨励に予算を——本年度は千五百五十億から千九百億といふふうな目標がふえております。ですから、この目標のふえ方が二割三分とい

うわけにございしますが、予算面におきましては募集手当が十五億二千九百万円、各種の物件費三億六千万円、十八億九千万円といふものを計上しておりますが、これはいま申し上げましたように、目標の増加は二割三分、予算面の増加は四二%といふふうに予算を増額いたしまして、それからまた一つの方法といたしましては、従来もよく然とした形ではやつておつたのでございしますが、貯蓄の中で主婦の占める地位が非常に高いということに目をつけまして、これは重点的に主婦に働きかけよう、そして全国のモデル・ケースをいたしまして、各県に主婦に親しまれる郵便局をつくつてもらう。換言すれば、主婦の方が郵便局にちよこちよこしたずねてもらえる、あるいはまた、局長室で主婦の方を集めていろいろとお話をして、そして郵便局に親しんでいただく。そしてまた、主婦の方に貯金を深く理解をしていただく、そして貯蓄を増強していただく、こういうことを考えております。

そのほか、いろいろサービスの向上とか、あるいは郵便局の貯金が伸びておる、あるいは郵便局の諸君が非常に好調の波に乗つて張り切つておられますので、さらにさらにその意欲を盛り立ててやつていただくということにも力を注いでおります。

○岡田(修)委員 郵便貯金の伸び率は地域的に見てどうなつておりますか、農村地帯あるいは市街地帯で……

○金澤政府委員 大体見まして、やはり大都市が、各郵政局で見ますと、東

京を持つておりますところの東京郵政が非常に好調を示しております。しかしながら、昨年のことには、管内にいろいろ大きな工業地帯がございするところの仙台が、全国の成績において第一位でございまして、これは従事員の諸君が非常に張り切つてやつていただいた結果だと思ひます。

○岡田(修)委員 ただいまの答弁では市街地が非常に伸びているということですが、そうすると、市街地の伸びといふのは、これは皆さん方の努力によりは、先ほど言つた所得の増加によつて自然的にふえていふんじゃないか。募集手当とか、主婦を集めてなにするとかいふことの効果よりは、自然的にふえていふといふような面が多いんじゃないかと思ひますが、どうです。

○金澤政府委員 貯金の伸びというのは、確かに経済的な客観的条件といふものとプラス従事員諸君の熱心さといふものでございすると思ひます。

○岡田(修)委員 いま各郵便局に、おまえのところは本年度幾らの貯金の増加を達成したとか、そういうふうな目標を与えておやりになつてゐるのですか、その点はいかがですか。

○金澤政府委員 さうでございまして、目標を与えてやつております。

○岡田(修)委員 農村方面では、最近農協がいろいろの手を通じて、方法を講じて、貯金の募集をやつてゐる。ところが、郵便局側は、おそらく従来と同じようなやり方——あるいは募集手当とかさういふことがあるかもしれ

ないかと思ひますが、どうです。

ないかと思ひますが、どうです。

ないけれども、ほかの機関に比べてほとんどとるに足らない方策しかやっていないんじゃないか、したがって、貯金募集に非常に苦勞しているという、その辺の事情はどうなっておりますか。あるいは農村地域の特定局に対しては特別のそういう奨励方策をとっているか、市街地と農村との方法の差異ですね。

○金澤政府委員 確かに農協は非常に活発な活躍をしております。私のほうは国営でありますので、いろいろな経費の面において農協に太刀打ちできないという面もございます。それから農協は独自の立場で非常に注文をとっております。しかし私どものほうも、役所並びに従事員諸君が農村に長く住んでおるといふこともありまして、非常に親しまれておるといふようなこともございまして、これに負けないようにがんばっておりますが、なかなか農協がいま申し上げたように強いということとは事実でございまして。

○岡田(修)委員 どうもいまの答弁だけでは、はたしてどの程度に農村方面の貯蓄増加について郵政省が力を入れていらっしゃるのかよくわからない。そこで、郵政省がお考えになった手は、定額貯金に対して、これが解約防止のために貸し付け制度を考えたらどうか、こういうようなお考えをお持ちになったようであります。その経緯はどうなっておりますか、大蔵省との関係、あるいは単に貸し付け制度だけにぶら下がっておつていいものかどうか、あるいはもつと他にいい考えがないものかどうか、その点をひとつ……。

○金澤政府委員 私の先ほどのお答えに對しまして、もう少し具体的にひとつ補足させていただきます。

今年度は、私のほうの特定局方面であります。一億七千三百万であります。昨年は六千四百万、非常にふやしております。それは先ほどおっしゃったように、募集段階や貯蓄奨励に大いに使いたいということで、こういうふうに努力いたしましたのであります。

それからいまの貸し付け制度であります。貸し付け制度は、私たち貯蓄奨励の一つの考え方として大いに考えたのであります。いろいろと検討いたしました結果、問題もありません。さらにこれは大蔵省と今後も検討していきたい、こう考えております。

○佐藤(洋)委員長代理 この際、暫時休憩をいたします。

午前十一時七分休憩

〔休憩後は会議を開くに至らなかった〕